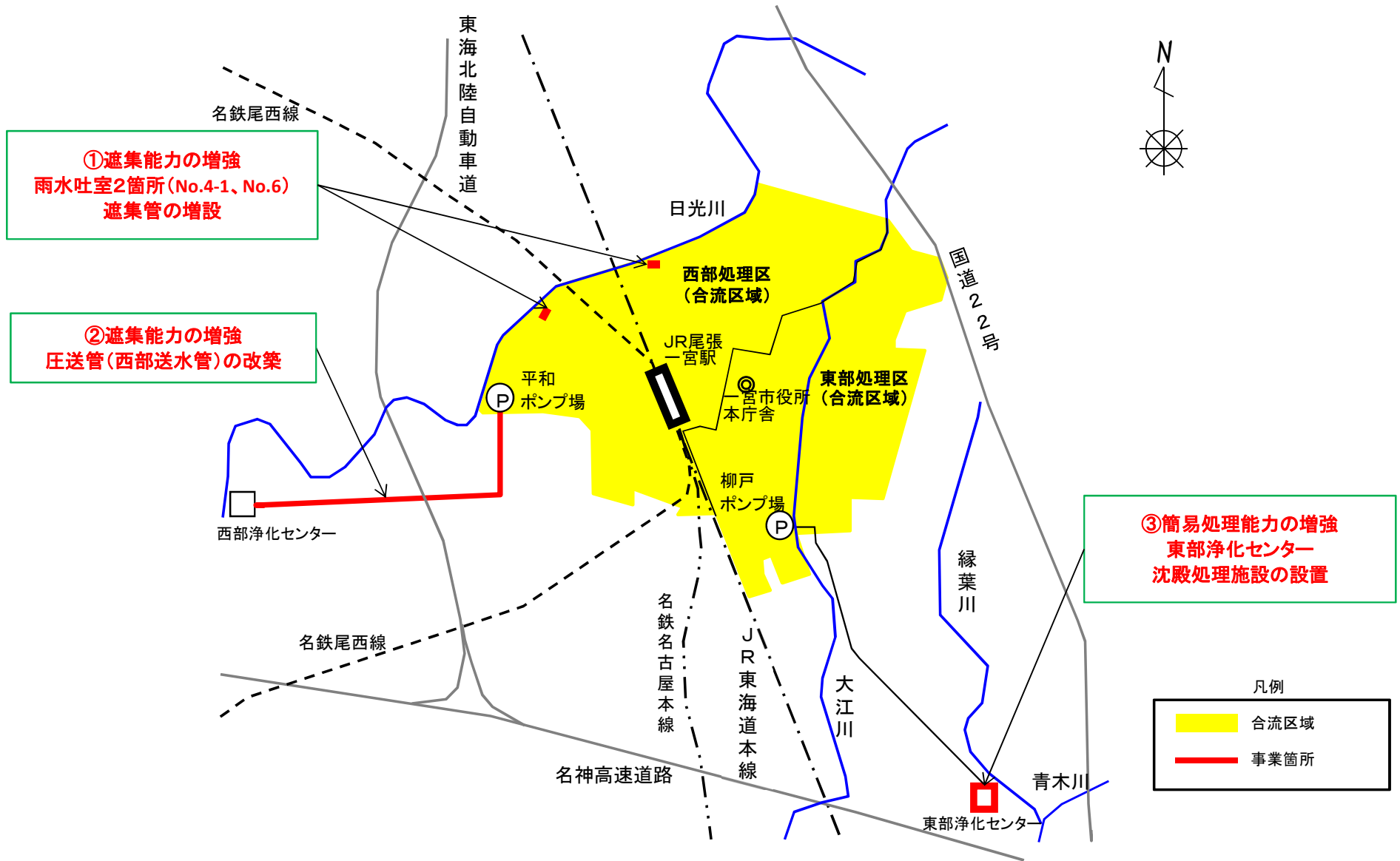


合流式下水道緊急改善事業 箇所図



＜未処理放流回数の半減対策の具体的手法は、以下の3つで実施＞

放流回数半減手法①【遮集能力の増強】

遮集管能力が不足しているNo.4-1、No.6雨水吐室では、**遮集管増設**し、雨天時下水を処理場へ「送る」ことにより、放流回数半減させる。

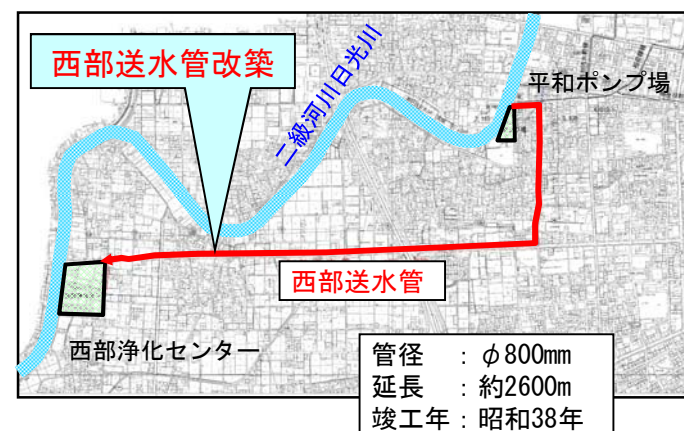
φ300mm×1条
⇒ φ300mm + φ450mm (増設)



(No.6雨水吐き室内写真)

放流回数半減手法②【遮集能力の増強】

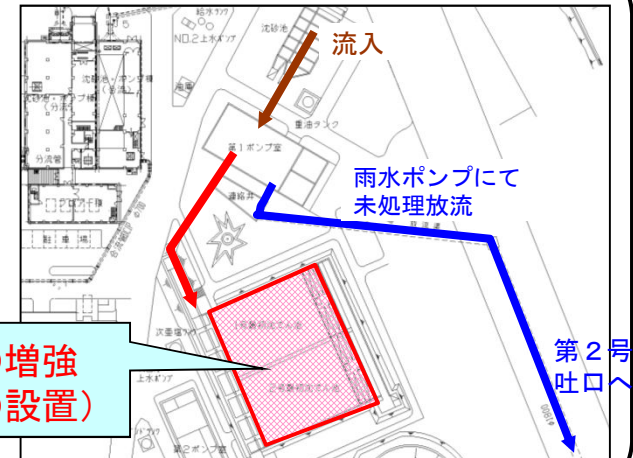
遮集管能力が不足している平和ポンプ場からの圧送管2本のうち、老朽化している**西部送水管を改築**して遮集能力を増強し、雨天時下水を処理場へ「送る」ことにより、放流回数半減させる。



放流回数半減手法③【簡易処理能力の増強】

東部浄化センター内の第2号吐口の対策として、隣接する簡易処理の能力を増強し、雨天時下水を処理施設へ「送る」ことにより、放流回数を半減させる。

簡易処理能力の増強
(沈殿処理施設の設置)



(東部浄化センター平面図)